研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-169		21-074	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Changes in Alcohol Consumption in Canada During the COVID-19 Pandemic: Associations With Anxiety and Self-Perception of Depression and Loneliness
COVID-19 パンデミック時のカナダにおけるアルコール摂取の変化 : 不安およびうつ病や孤独の自己認識との関連性

執筆者

Shield KD, Chrystoja BR, Ali S, Sohi I, Rehm J, Nigatu YT, Elton-Marshall T, Hamilton H, Jankowicz D, Wells S

掲載誌

Alcohol Alcohol. 2022 Mar 12;57(2):190-197. doi: 10.1093/alcalc/agab055.

キーワード	PMID
カナダ,アルコール摂取量, COVID-19, 不安, うつ, 孤独	34387658

要　旨

目的 : COVID-19 パンデミック時のカナダにおけるアルコール摂取量の増加に関連する要因を、不安、うつ、孤独、およびパンデミックによる雇用の変化に着目して明らかにする。さらに、アルコール使用の変化に関連する要因が男女で異なるかどうかも検討した。

方法 : データ収集は，Web パネル「Asking Canadians」を介して，カナダ在住の 18 歳以上の成人 5,892 人に対して 2020 年 5 月 29 日から、2021 年 3 月 23 日の間に行われた。COVID-19 の流行開始以降の過去 7 日間のアルコール摂取量が、流行開始前と比較して「かなり減った」、「やや減った」、「変化なし」、「やや増えた」、「かなり増えた」で回答を得た。また、性別、年齢、世帯収入、居住地、同居人数、不安（General Anxiety Disorder-7 調査票）、うつ（CES-D 調査票）、雇用状況への影響も尋ねた。解析には、順序ロジスティック回帰を用い、性別による影響を検証した。

結果 : 年齢、収入、うつ・孤独を感じた日数、調査時期が、アルコール摂取量の変化と有意に関連していた。特に、不安が全くないか低いレベルの人々に比べ、軽度から中等度の不安（OR : 1.23、95%CI : 1.07-1.62）、重度の不安（OR : 1.49、95% CI : 1.15-1.93 ）を有する人々において飲酒量が有意に増加していた。男女別の解析では、男女とも、年齢、収入、うつ・孤独を感じた日数、調査時期が、アルコール摂取量の変化と有意に関連していた。性別による効果の違いはみられなかった。

結論 : COVID-19 パンデミック時にアルコール消費が増加する正確な理由は不明であるが、アルコール消費の変化は、不安、抑うつ感、孤独感と有意に関連することが示された。